



高く、強く、健やかに

柏崎体育

2009. 1. 16



さあ、いよいよ
トキめき新潟国体

148号

柏崎市体育協会広報紙



今号のキャッチフレーズ

『一丸となって』

私の柏崎体育に関わる事になつたきっかけはこの時からであつたといえるでしょう。

それまでにも長男の野球に関わつたり、地区の運動会等、声がかかればなんにでも参加していたという下地があつたのではと思います。体育指導委員十八年間の中で研修に参加する度に成長していくのかなと今考えます。

参加人数までは覚えていませんが、坂田会長の元にバス一台で、交流しました。当時先進地としての東村山市体協はそれ以来いつも私共の目標でありました。

昨年女子ソフトボール連盟の一員として、朝岡会長のチームとも交流して参りましたが、訪東十五回目といた記念すべき年になりました。

さて、いよいよ今年は二巡りますが、柏崎市でも体育

中越沖地震で被災された仮設住宅に入つておられる方々がいる中で、予算的にも厳しい大会にはなるでしょうが、一人ひとりが誠意をもつて活動をやつてゆけば必ず「やつて良かった」といえる国体になると確信しております。

改めて協会員はもとより市民の皆様にも、協力をお願ひいたします。

新潟県に、柏崎市にとつて、来ていただいた役員、応援にかけつけられた方々にも、新潟へ、柏崎へ行つて良かつたといって頂ける國体にするのが、私達の仕事だと思つております。市民一人ひとつりが実行委員のつもりで、みんながボランティアの気持ちで、来柏される選手はじめ、来ていただいた各方々に接して頂ければ、大成功は間違いないでしょ。

私の体育人生に想う事

柏崎市体育協会副会長

金子錦
弥

ん。協会は当然のことながら、市民全員が一丸となつて、成功させなくてはなりません。

加盟団体

評議員会：審議・議決機關
(加盟団体代表者42名)

平成20年 第61回柏崎市体育協会表彰

(敬称略)

体育功労賞



村山 忠利 (73歳) 柏崎市体育協会

永年(平成6年～平成20年)にわたり、本協会の副会長として円滑かつ活力のある協会運営とその事業推進に優れた指導力を發揮するとともに、賛助会員の募集、拡大やスポーツ振興基金の確保など、協会の財源確保に積極的に取り組まれた功績は誠に大きい。また、柏崎市スポーツ少年団本部長として、スポーツ好きの少年少女の健全育成事業に尽力され、地域におけるスポーツ振興に多大に貢献された。

故曾田 恒 柏崎市体育協会

本協会の副会長の要職を15年間、柏崎水泳連盟会長として13年間務められ、生涯スポーツの振興や本協会の公益法人化への提言・指導など、当面する課題対策に斬新かつ適切な指導力を發揮した。また、スポーツドクターとして(財)日本体育協会に認定され、本市のジュニア選手の健康管理・体力増強や効率的トレーニング方法など、スポーツ医科学の分野の開拓とその指導に実績を残され、ジュニア選手の安心・安全の競技力の向上に多大に貢献された。

感謝状



内山 正司 (84歳) 柏崎バレーボール協会

永年にわたり協会の委員・役員として幅広く競技力向上・大会の運営・指導等に貢献された。公認審判員としても活躍、後輩の技術力向上に尽力され県協会の名誉審判員にも推举されている。現役引退後は監督・コーチ・指導者として、実業団・一般チームのみならずジュニア世代を含め幅広く指導・支援をされ、関係チームを全国大会へ導いた。また、柏崎地区の小学生バレーボール普及の礎を築かれた。現在小学生連盟が順調に運営されているが、いち早く指導普及に着手された慧眼は高く評価されるものである。



栗林 健三 (82歳) 柏崎ワンバウンドバレーボール協会

昭和61年、誘われて枇杷島OBVに入会。以来、新潟前会長の手助け、中条を訪問してOBVの規約を検討する等活躍された。柏崎OBV協会設立、事務局長となる。南部郷大会の実施・第1回柏崎OBV秋季大会実施(平成19年で21回)・OBVの普及活動を長岡、上越、佐渡で実施。平成7年公認審判員制度を作り、テスト実施。平成14年柏崎OBV協会長に就任。以後、県高齢者スポーツ振興協議会長として、県高齢者OBV大会の運営・規則改訂と統一・各種講習会の実施・各種OBV大会の計画立案運営、等々本協会の振興に大きく貢献された。



松島 健二 (73歳) 坂田体育研究所

昭和32年坂田四郎吉氏に勧誘され体操の基本を享受。以来50年間「暁体操(毎年300日以上継続出席で受賞)」「元朝体操」に出席し、「夏休み子ども体操会」を20年間実施した。昭和39年・40年には東京日比谷公会堂での「全国大会三橋体操研究所発表会」「国民健康づくり運動発表会」に柏崎代表として参加出演した。また、5年前から「みんなの体操・ラジオ体操・ストレッチ体操」を指導。年間行事の「ウォーキング・温泉入浴健康法」の指導にも携わっている。当研究所幹事・会計担当・評議員を歴任され、現在理事としてご活躍中である。

スポーツ栄誉賞

セーリング RS:X級
ウインドサーフィン

富澤 慎 サーフボード連盟

2008北京五輪セーリングRS:X級 10位

ライフセービング

遠藤 雅 ライフセービングクラブ

三洋物産インターナショナルライフセービングカップ2008 サーフチームレース 2位

水泳(競泳)

河本 耕平 水泳連盟

第63回国民体育大会100mバタフライ 1位

日本新・アジア新樹立 51秒33

スポーツ栄誉賞

て当たり前、攻めに攻めてやつと戦える状況でした。

も定め、更なる向上を目指します。また今年の新潟国体も優勝を目指しますので、応援よろしくお願ひします。

臨むことが出来ました。十
月の全日本ライフセービン
グ選手権では、個人のレー
スは思うようにいかなかつ
たが、チームで戦うオーシ

た。世界のトップ選手と競い合い、各国のライフセービング情報の交換と、なかなか出来ないいい経験をすることが出来ました。



サーフボード連盟

富澤 憲

北京オリンピック出場に際し、多

くの皆様
していただ
ございま
貫は叶いま

せんでしたか 予選最終日
得意な弱い風のレースで
2位となり、総合10位とい
う結果となりました。

ウイングサーフィンでオリンピックに参加した35名の選手は、自分がユースの時代（高校一年生）から戦つてきた競争相手です。最終成績で16位までの選手は

皆世界大会で1位になれる実力者で、殆どの選手がアーテネオリンピックにも出場しています。このメンバードのレースは、ミスがなく



北京オリンピック出場で多くのことを経験しました。次期ロンドンオリンピックに向けての課題も明確になり、4年間の活動目標

自分の身体の基礎となつたのは、子供の頃から続けてきたスポーツによるもので、幼稚園からの水泳（中学では水球部に転向）で持久力や肺活量の強化、小学生から始めたスキー競技で足腰を鍛えたことだと、害感しています。

遠藤 雅

昨年を振り返って様々なことを学びました。

一昨年の四月から社会人となり、仕事、練習の両立の

遠藤 雅

袁藻

九月には、ライフセービング S ANYOCUP の日本代表として出場もしました。

トキめき固体へ向けて



河本
耕平

で2008年は私にとって

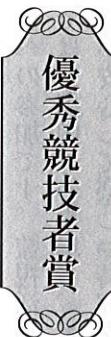
日本新記録を樹立すること
ができました。四度の日本
新記録樹立と同時にこれら
の記録はアジア新記録でも
ありました。

こういった成績を収めら
れた背景には、2007年
から所属させて頂いている

日産サティオ新潟西、ご支援頂いているブルボンさんとの多大なるご理解があり、地元新潟の応援を背に日々のトレーニングへ打ち込めました。

本年は、トキめき国体の年。更なる飛躍を目指し、努力を惜しまず頑張ります。

勝・日本記録更新、大分国体百mバタフライで優勝・日本新記録樹立、国体後の新潟県スプリント選手権五十mバタフライにおいても



優秀競技者賞

関矢梨花(第一中学校)



挑戦

・全日本中学校陸上競技選手権

大会 100mH 秒34 3位 14

青木康哲(附属高校)

・第2回日本ユース陸上競技選手権大会 110mH 14秒86 7位



昨年を振り返って・・・

中越沖

地震から半年。僕

のシーズ

トした。

今シーズンの初

戦は地元での柏崎選手権。

厳しい冬季のトレーニング

を順調にこなし、技術チエ

ックのつもりで出場した

が、結果は「途中棄権」で

あつた。顧問からのコメントも「アホたれ……」でした。この出来事で、競技に対する心構えもずいぶん変わりました。

良い成績で喜んだレースもありましたが、調子が上がらず振るわなかつたレースも沢山ありました。その度にこの競技の難しさや成績を出した時の喜びを感じました。

全力で競技に打ち込んだのは、顧問の毛見先生、陸協の高野コーチをはじめとする指導者の方々や、強力なライバル達、日々練習に

励んだ良き仲間達のお陰でした。

来年度から高校の舞台での競技になりますが、自分の目標に向かい全速力で「挑戦」していきたいと思っています。

体も三位、北信越大会も五位でインターハイへのキップも得ることができます。記録を出せば全国大会に出場できる中学とは違い、高校は「本当の強さ」を兼ね備えたものに与えられる全国大会であることがよくわかった。顧問の出するメニューで、一試合毎、さらに一レース毎にベストを尽くすためのコンディショニングもうまくいった。勝ち上がりしていく「勝負強さ」も身についたと思う。

前半戦最後のインターハイは雰囲気にはまれ、あつた。三年生が引退し、部長になつた。厳しい夏の練習も部を盛り上げ、精一杯頑張った。迎えた秋季上越地区大会。一発決勝となつたレースで日本ユース選手権の参加標準記録(15秒10)を突破する14秒99で勝つた。後半戦の目標を一気に「日本ユースで入賞する」とに切り替え、気持ちも高まつた。

日本ユースまでの練習も充実し、レースが楽しみでしようがなかつた。試合当

日に最高の状態でレースができ、目標である七位入賞を果たすことができました。僕の高校でのシーズンはもう一年残っています。目標はインターハイでの表彰台です。今後は怪我に気をつけ、努力を惜しまず何ごとも取り組みたいと思います。

最後になりますが、僕は一人ではこのような結果は残せません。顧問の小林先生をはじめ、ご指導していただいた先生方、チームメイトや家族をはじめ応援してくれた皆さんのおかげです。心から感謝しています。これからも陸上競技

社会人になつた今でも情熱を燃やし活動し続けています。全国的にライフセーバーの数が増えてきているものの、柏崎を含む日本海側を見るとまだまだ少ない女性の立場から言わせて頂ければ女性ライフセーバーが少ないと気がかりである。まずはスポーツ競技から人々に興味を持つほしいという思いで、海の競技を中心にトレーニングに励んできた。ついに昨年その努力が実り、10月に開催された全日本選手権ではサーフスキートというレースで女子オーシャン競技最高の銅メダルを獲得することができます。昨年はゴール間際、波にのまれ惜しくも入賞することが出来なかつた。その悔しさをバネに「絶対、表彰台に立つ」と目標を持ち、闘志を燃やし練習してきたことがこの

目標は高く、前向きに!



新潟産業大学で
ライフセービング



ライフセービング

須田好美(ライフセービングクラブ)
第34回全日本ライフセービング選手権大会 サーフスキート

越地区大会を優勝し、県総自己記録を更新し、春季上

充実し、レースが楽しみでしようがなかつた。試合当

成績につながつた。

今後は金メダルを目指して、トレーニングやレース経験を積み重ねて行きたい。そして、ライフセービングを通じて柏崎の海を使つたオーシャンスポーツをより多くの市民に伝えていきたいと思つている。

過ごせるよう日々練習を行ない、競技会においては、國內をはじめ国際大会にも日本代表として出場してきました。

(池谷薰・斧田耕一・遠藤雅・遠藤望・青木克浩・青木将展・中島良平・石川智也)

勝利の先にあるもの

近年柏崎ライフセービングクラブでは、上位入賞や

いうことを、改めて実感しました。

青木将展
新潟産業大学

ボードレスキュー 5位

四年目の柏崎



私
が
新

私が新潟産業大学へ入学してから四年目を

迎えました。私は幼い頃よりライフセービング活動に携わっておりますが、新しい事を学ぶためこの柏崎にきました。

私たちの主な活動は海水浴場の監視活動および競技会への参加です。監視活動では、市内外の来場者、皆様が安心して楽しい時間を

- 第34回全日本ライフセービングクラブ
グ選手権大会 オーシャンマニ
ンリレー 2位
- 第34回全日本ライフセービング
選手権大会 レスキューチュ
ーブレスキューレース 4位
- 第21回全日本ライフセービング

この機会をお借りし、この四年間ご支援ご指導下さいました皆様方へ多大なる感謝をするとともに、私達の更なる発展にご期待ください。

会での好成績と海難事故防
止につながっている。今年
度も国際大会の代表として
大活躍したり、全日本大会
で女性初の銅メダルを獲得
した。

これからも厳しい練習は続く。目指すは「事故ゼロ」。

水泳
(競泳)



「」という言葉がある。この精神をこれからの中年を担うジュニア世代に伝え、そして一緒にライフセービングの明るい未来を築いていきたい。



卷之三

いうことを、改めて実感しました。

夏の大会を通して

ライフセービング界に「競
技のNo.1はレスキューのNo.

方、仲間たちの支えもあり、すぐに立ち直ることができました。そして自信を持つて臨んだ国体では、目標としていた表彰台に上がることができました。応援してくださった方々に、本当に感謝したいです。

地元新潟で開催される国

和田康宏（柏崎高校）
● 第63回国民体育大会 少年B
100m自由形 3位
52秒76

体では、少しでもチームに貢献することと、インターハイでのリベンジを目標に頑張っていきたいです。



村山訓亮 (常盤高校)

- 第63回国民体育大会 少年B
4×100mリレー 6位
3分34秒70

昨年の私を振り返って

昨年は
高校入試

と水泳の
両立とい
う私にと
つて困難なテーマから幕を開けました。努力の末、合格という結果を出せ、高校生となることが出来ました。

長谷川陽子 (附属高校)
・水球女子豪州ジュニア選手権
日本代表

水に親しんで今まで

受験後、通常の練習スケジュールに復帰した時、そのままのブランクの大きさに、正直、戸惑いました。日々の練習の継続が自分を支えていたのだということを気付かされたと思います。

高校生活にも慣れ始めた六月、新潟県大会に二百四百メートル自由形で出場し、結果はどちらの種目も

二位で入賞出来ました。この大会では自己ベスト記録を大きく更新出来て春先の不安感を完全に拭い去ることが出来ました。

昨年最大のイベントは、去る九月十三日から十五日に開催された大分国体です。この大会では四百メートルとリレー二種目で参加し、フリーリレーで六位入賞を果たせました。今年は新潟国体に向け、日々精進していく決意です。

去る九月には、日本女子ジュニア代表に選ばれ強化合宿を経て豪州選手権に出場しました。競い合いという貴重な体験は、私に「上手くなりたい、もっと練習しよう」そんな思いを植えつけてくれました。

高三の今、思うことは応援してくれる友人、励まして下さる先生方、共に高め合うチームメイト達、休日を問わず指導して下さるコーチ達が、どれだけのパワーを私に与えてくれているか、改めて実感しました。

水泳、水球というスポーツを通じて多くの人と出会い、仲間ができたことを幸いに思いました。でも今まで辞めたいと思つた時は一度もありません。

小一から水泳を習い始めました。浮きながら泳ぎながらの巻き足やボールの扱いに、当初は「こんな事で泳ぎないよ!」と思うくらいコーチ達が鬼に見えました。でも今まで辞めたいと思つた時は一度もありません。

柏崎アクアクラブ (水泳連盟)
・第31回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水球競技大会B区分 (男子15歳以下)
柏崎アクアクラブ (水泳連盟)
・第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水球競技大会B区分 (男子15歳以下)
準優勝
(深田悠斗・横田純平・小林玄太・山岸貫太・轟修介・長谷川太郎・喜田誠・阿部誠司・黒金圭祐・池田凌・大坪卓・大橋勇斗・関矢光・阿部尚紀・山岸皓太)

競泳では産附チームで三年連続北信越大会にメドレーリレーで参加できた事に感激し、また結果に涙したり、水球では、女子の人数が少ないながら様々な大会に参加する中で中越沖地震の際は県外の多くのチームから支援をいただき、スポーツを通じての絆を強く感じ、感謝の気持ちで一杯になりました。

去る九月には、日本女子ジュニア代表に選ばれ強化合宿を経て豪州選手権に出場しました。夏のJOCで果たせなかつた目標である全国制覇に向け、チーム一丸となつて練習にひたすら励みました。チームを引っぱつていく立場として、一選手として夢中でした。

ついに迎えた春のJOC。チームがだんだんとまとまつていくのを感じました。そして、中学男子では初の決勝の舞台に立つことができ、応援席一杯の応援団に負けた山形水球。前半から守りを生かした自分たちのペースで試合を運びましたが、結果は三対四で涙を飲むことになりました。それでも、この試合で一年間取り組んできた事が完成し、人生において大きな財産ができました。

今は新潟国体に向けて動き出しています。プレッシ

だ!! 日本代表を目指して頑張ります。

一年を振り返る
山岸貫太 (アクアクラブ主将)



年が明けてすぐ、遠征・合宿を積み

三井田誠 (工業高校)
・日本水泳連盟U-19 日本代表

ヤーは大きいですが、今度は自分たちが関係者、県民の皆さんのお度肝を抜き、感動を与える様、精進していきたいと思います。

でも、こんな自分を支えてくれたのはチームメイトと学校の先生でした。本当に感謝しています。

でも、こんな自分を支えてくれたのはチームメイトと学校の先生でした。本当に感謝しています。

現在は、環境にも慣れ、言葉も理解できてきたので充実した日々を送っています。目標である全国入賞を目指しがんばっています。

も嬉しかったです。北信越大会を通過して大分国体に出席し、全国のトップレベルの人達と試合をしたり、間近で見て学んだことが沢山ありました。国体は約一週間という長い期間で行われました。長期間で行われる試合に出場するのは大分

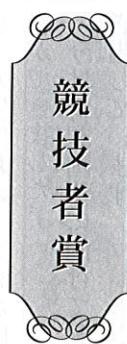
国体にむけて



國體強

• 第41回 北信越高等学校総合体

競技者賞



なぎなた
池田晴代（なぎなた協会）

卷之二

水泳
(競泳)

僕は、昨年の四月に上海から卓球留学をし、最初は日本語が理解できず、とても困りました。言葉が通じないというのはこんなにも苦しいことなのかと思いました。辛くて逃げ出しそうになりました。



初めての新潟代表！大分国体
一年を振り返る
と、今まで無い貴重な体験をした一年だと思います。
中学三年生になり初めて新潟県国体予選に出場し、一次予選・二次予選とも上位に入ることができ、国体メンバーに選ばれた時はとて

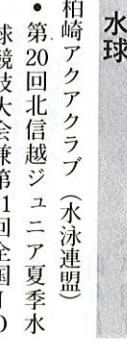
いではなく、全国大会など大きな舞台でも自分のベストを尽くせる強い精神力を自身に付けるのが、今の私の一番の課題だということです。これからは毎日の練習において常に高い意識を持ち、技術面・精神面ともに成長できるよう頑張りたいです。

今年度の都道府県大会と
大分国体で演技の部二位になれたことは選手としての
最低限の目標達成と責任を果たせたのではないかと思
っています。

二大会連続で準優勝が続
いたので、新潟国体では頂
点に立ちたいです。支えて
くださる全ての人へ感謝を
忘れず、悔いのないよう、
これからも精進してまいり
ます。

水球	柏崎アクリアクラブ（水泳連盟）	佐野真理奈（翔洋中等教育学校）
● 第20回北信越ジュニア夏季水球競技大会兼第31回全国JO	小池愛佳（西山中学校）	・ 第29回北信越中学校総合競技
大会 水泳競技 200m背泳ぎ 3位 2分26秒52	大会 水泳競技 200m背泳	大会 水泳競技 200mバタフライ 3位 2分26秒48

水球



柏崎アクアクラブ（水泳連盟）
・第20回北信越ジュニア夏季水
球競技大会兼第31回全国J.O